

平成25年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

国語

【今年度の結果】

1 偏差値

全国	市	自校
50	51.2	51.1

2 領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
話すこと・聞くこと	86.0	86.8	89.6
書くこと	56.9	57.0	56.4
読むこと	51.5	52.2	48.8
伝統的な言語文化と国語の特質	57.2	61.4	61.9

3 重点課題

設問	状況
① 細部を読み取る	通過率23%
② 表現・書きだしの工夫	通過率35%
③ 場面の読み取り	通過率35%

4 検証結果

設問	状況
① 細部の読み取り	通過率79.3%
② 表現・理由の述べ方	通過率68.5%
③ 場面の読み取り	通過率93.7%

【来年度の目標値】

領域	自校
話すこと・聞くこと	90
書くこと	60
読むこと	50
伝統的な言語文化と国語の特質	65

R

重点課題

P

① 文章の内容を的確に押さえ、細部を読み取ることに課題がある。(通過率23%)

② 書いたものを読み、表現の仕方や効果などについて確かめることに課題がある。(通過率35%)

③ 場面をとらえて読むことに課題がある。(通過率35%)

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①-1  
大まかな内容をとらえさせるだけでなく、本文を根拠にして、細部の表現から心情を読み取ったり、接続詞から段落どうしのつながりを考えさせたりする。

①-2  
問われている事柄に対して、正しく回答できるよう、発表や記述の際に正しい答え方を指導する。

②-1  
説明的文章や文学的文章を読む際に、表現の工夫に着目させる指導を行う。

②-2  
自分が文章を書くときに、読み手を意識した文章を書くよう指導し、できた文章をペアやグループで読み合い、表現の工夫について確かめさせる指導を行う。

③-1  
文学的文章の読み取りにおいて、初読の段階で登場人物や場面について個人が読みとったことを記述させ、文章の背景部分を意識させる指導を行う。

③-2  
文章から、場面の移り変わりや、情景の描写を読み取り、該当部分に線を引かせることで、場面や情景に関わる描写に着目させる。

C

検証方法

○類似問題で1月に定着状況を見る。

○定期テストに同様の観点の問題を出題し、評価する。

平成25年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

社会

【今年度の結果】

1 偏差値

全国	市	自校
50	51.0	51.0

2 領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
世界の様々な地域	58.3	61.7	62.6
原始から古代の日本	60.6	63.2	62.6
中世の日本	50.6	48.9	48.4

3 重点課題

	設問	状況
①	武家政権の成立と元の来襲	全国比90
②	歴史の流れと時代区分	全国比94
③		

4 検証結果

	設問	状況
①	武家政権の成立と元の来襲	正答率11.3%向上
②	歴史の流れと時代区分	正答率7.1%向上
③		

【来年度の目標値】

領域	自校
世界の様々な地域	65
原始から古代の日本	65
中世の日本	50

R

重点課題

P

①中世における東アジアの国々との国際的な交流の様子についての理解について課題がある。

②時代の区分やその移り変わりについて理解し、時代を大観することに課題がある。

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①-1  
2学期の歴史学習開始時に、1時間の時間をとって鎌倉時代の国際関係について復習を行う。
- ①-2  
江戸幕府の成立について学習する際に、江戸幕府との比較の視点で、鎌倉幕府の国際関係について復習する時間を確保する。
- ②-1  
歴史学習の毎時間の開始時間を用いて、時代の流れに関する問題演習を10時間程度実施する。
- ②-2  
近世の日本の単元終了時のまとめの時間を用いて、時代の流れを整理する時間を設ける。

C

検証方法

- 同一問題で1月に定着状況を見る。
- 定期テストに同様の観点の問題を出題し、評価する。

平成25年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

数学

【今年度の結果】

1 偏差値

全国	市	自校
50	51.7	52.4

2 領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
数と式	58.2	62.5	62.8
図形	51.9	54.1	56.5
関数	53.3	56.5	56
資料の活用	44.0	47.8	51.3

3 重点課題

	設問	状況
①	分数の乗法・立式	通過率15%
②	反比例の事象	通過率18%
③	平均の意味とその応用	通過率24%

4 検証結果

	設問	状況
①	分数の乗法・立式	通過率32.5%
②	反比例の事象	通過率47%
③	平均の意味とその応用	通過率35%

【来年度の目標値】

領域	自校
数と式	70
図形	60
関数	60
資料の活用	60

R

重点課題

P

①分数の乗法の立式や割合について課題がある。  
(通過率15%)

②反比例の事象の理解に課題がある。  
(通過率18%)

③平均の意味の理解に課題がある。  
(通過率24%)

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

①-1  
割合について確認をさせその求め方を身につけさせる。

①-2  
類題を繰り返し解かせ、割合の求め方を定着させる。

②-1  
反比例の意味を確認し、身近にある事象について考えさせる。また個人で反比例の事象を考えさせ、小グループで意見交流する。

②-2  
反比例の文章題を繰り返し解かせ、定着を図る。

③-1  
平均の意味を理解させ、基本的な平均の求め方を定着させる。

③-2

C

検証方法

○同一問題で1月に定着状況を見る。

○定期テストに類似問題を出題し評価する。

平成25年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

理科

【今年度の結果】

1 偏差値

全国	市	自校
50	50.5	54.3

2 領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
エネルギー	69.4	70.2	73.4
粒子	54.7	52.7	53.4
生命	74.7	77.0	79.5
地球	61.3	63.6	68.0

3 重点課題

設問	状況
①物のあたたまりかた	全国との差-4.3%
②てこの規則性	全国との差-1.9%
③	

4 検証結果

設問	状況
①物質の状態変化	達成率70.7%
②音との性質	達成率75.0%
③	

【来年度の目標値】

領域	自校
エネルギー	73.4
粒子	58.7
生命	80.0
地球	68.5

R

重点課題

P

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

C

検証方法

①「物のあたたまりかた」に関する問題に課題がある。(全国との差-4.3%)

②「てこの規則性」に関する問題に課題がある。(全国との差-1.9%)

①-1  
実験・観察時に、目的→予想→手順→実験→結果→分析→考察の手順について、時間をかけて教える。

①-2  
実験・観察時に、ペアやグルーブトークを設定し、考えを深める。

②-1  
規則性が定着するよう繰り返し学習を行う。また、次のステップに進む際は、振り返り学習を確実にし、学習の関連性を意識させる。

②-2  
定期試験においても、関連した問題を出題する。

○定期試験で、同様の観点の問題を出題することを予告すると同時に、練習問題を取り入れる。

○類似問題で、2学期末に定着状況を確認する。